



100年を楽しく生きる

発行人：一般財団法人共愛会芳野病院 院長 沼 義則 〒708-0332 岡山県苫田郡鏡野町吉原 312 Tel：0868-54-0312 Fax：0868-54-3418 https://www.kyouaikai.or.jp info@kyouaikai.or.jp 発行日：令和6年5月1日

2024年5月

*毎月、月初めには必ず保険証をご持参下さい。

芳野病院外来診療のご案内

受付時間 午前8:00~12:00 / 午後13:30~17:30 診療時間 午前9:00~12:30 / 午後15:00~18:00

休診日 日・水・祝

Table showing doctor schedules for various departments (Internal Medicine, Surgery, etc.) across the month of May. Includes columns for days of the week and specific doctor names like 藤本 宗平, 沼 義則, etc.

※ご案内が変更の場合もありますのでご了承ください。(詳しくは受付まで) ●: 午前の診療 ○: 午後の診療 ▲: 手術の場合は休診 お問い合わせ先: TEL 0868-54-0312 FAX 0868-54-3418

☆急患の方はこの限りではありません。ご相談ください。

地域医療への貢献

放射線科診断専門医としての役割

一般財団法人共愛会 芳野病院

放射線科

沼 哲也



今年度より赴任しました沼哲也と申します。生まれは山口県ですが、津山育ちで北小学校、北陵中学校、津山高専と学生時代を津山で過ごさせていただきました。大学は愛媛大学で6年間医学を学んでまいりました。専門領域は放射線科と内科を兼任させていただいています。

放射線科と聞いて少しなじみのない方もいらっしゃると思いますので、普段の業務内容の紹介をさせていただきます。放射線科の仕事は大きく分けて画像診断(IVR含む)と放射線治療に分けられます。私の専門分野は画像診断と血管内治療(IVR)に主に携わっております。

画像診断に関しては単純X線写真や超音波検査(エコー)からCT、MRI等の先端画像まで、幅広い領域の画像を取り扱っております。放射線技師が撮影した患者様のCTやMRIの画像を詳細に読影し、依頼いただいた担当医に速やかに報告することで円滑な診断、治療を可能とすることが放射線科の本懐といえます。



↑ 当院の80列CT装置

放射線科の医師は内科や外科の先生方とは違い、直接患者様に会うことはあまりありません。ただこのように医療の質を皆様の見えないところで支えていることを誇りとして日々奮闘しております。

私は今後、放射線科診断専門医として地域医療に携わってまいります。放射線科診断専門医がどのように地域医療に貢献できるのかについては、このことは私も所属する日本医学放射線学会も言及されています。その中で検査画像のデジタル化に伴う遠隔読影の重要性に触れられています。画像診断情報はその情報量や客観性の高さから医療の重要な部分を構成されており、近年では検査技術や読影技術の進歩に伴い、画像診断における専門性はより高くなってきています。このような専門性が高く、非常に重要で有用な情報を遠隔読影を通じて地域医療に反映させることが地域医療連携における不可欠なことであると考えております。

私は放射線科診断専門医という立場で皆様と地域医療を発展させていきたいと思っております。画像撮影や遠隔読影等で気になることや聞きたいこと相談等あれば気軽に連絡いただけたらと思います。若輩者ですが、よろしくお願いたします。

編集後記

今では身近なスマホ・缶コーヒー・ファストフードなどは、1970年の大阪万博をきっかけに普及されました。5年に1度開催される万博、来年再び大阪で開催されます。今度はどんな未来が見えるでしょうか。

News from Yoshino Hospital

お願い

窓口負担額について

診療報酬改定により 令和6年6月1日より、患者さまの窓口負担額が変わることがあります。

電子カルテの導入にあたり

システムを運用の際に「診察券」が必要となります。また、導入当初は何かとご不便や待ち時間が発生する場合がございます。

ご了承くださいませようよろしくお願い申し上げます。

芳野病院 院長 沼 義則

2024年度 新人・中途採用者研修を振り返って

受講者全員のレポートから
繰り返し記されていたことば

- ・医療安全の取り組み
- ・理念とは
- ・倫理研修では当たり前のことの実践
- ・接遇研修の5原則
- ①身だしなみ②あいさつ③表情
- ④ことばづかい⑤聞く姿勢
- ・接遇の法則 100-1=0
- ・スタンプラリーにより各部署探検
- ・アサーション&アンガーマネジメントを学んでの怒りへの向き方



参加者内訳

採用者 医師(1)看護師(3)訪問看護師(1)臨床検査技師(1)
介護福祉士(1)介護員(5)介護支援専門員(1)
栄養士(1)保育士(1) 計15名

講師 初日 延べ10名 2日目 延べ16名

毎回感じることは、伝えたいことの何割くらいが伝わっているだろうかということ。10割伝わることは無理としても、自分の経験からも、同じ講義のくり返しや多職種講師からの異なる視点からの講義により理解は深められ、肉体的、細胞の隅々まで記憶が留まるのではないだろうか。

法人本部
事務局長 山田 晴基

今年も恒例の研修を実施できた。4月1日が月曜日となる2日間の研修となった。例年の事だが、3月に入つての内定者もあり、4月1日付け採用者が6名となった。受講者は常勤者に限り、総計15名となった。特筆すべきは、昨年に引き続き常勤医師(沼 哲也医師)の兼任が1名、しかも地元津山市出身の中堅医師。そして、半年以上の準備期間をかさねてインドネシアからの特定技能実習生4名が採用された。実習生は半年間の日本語学校での研修を終え、日常会話はこなすことができる。今後は、明るい笑顔と若さを力に3年後の介護福祉士試験合格を目指してもらいたい。

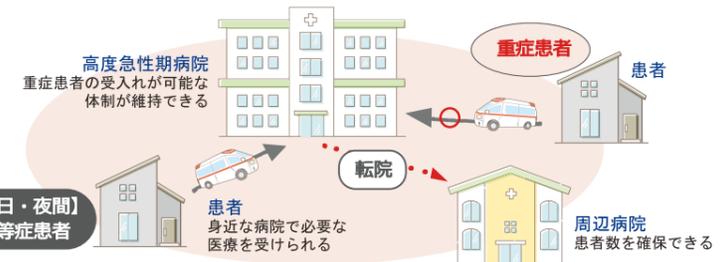
01 topics

これからの地域医療・介護は「連携」

一般財団法人 共愛会 理事長 藤本 宗平

令和6年度の診療報酬改定において「連携」がキーワードの一つに挙げられます。芳野病院は以前より病・病連携、病院・施設連携を行ってききましたが、さらに切れ目のない連携へと機能強化を進めたいと考えます。

図1 転院(下り搬送)による救急医療体制の役割分担(イメージ)

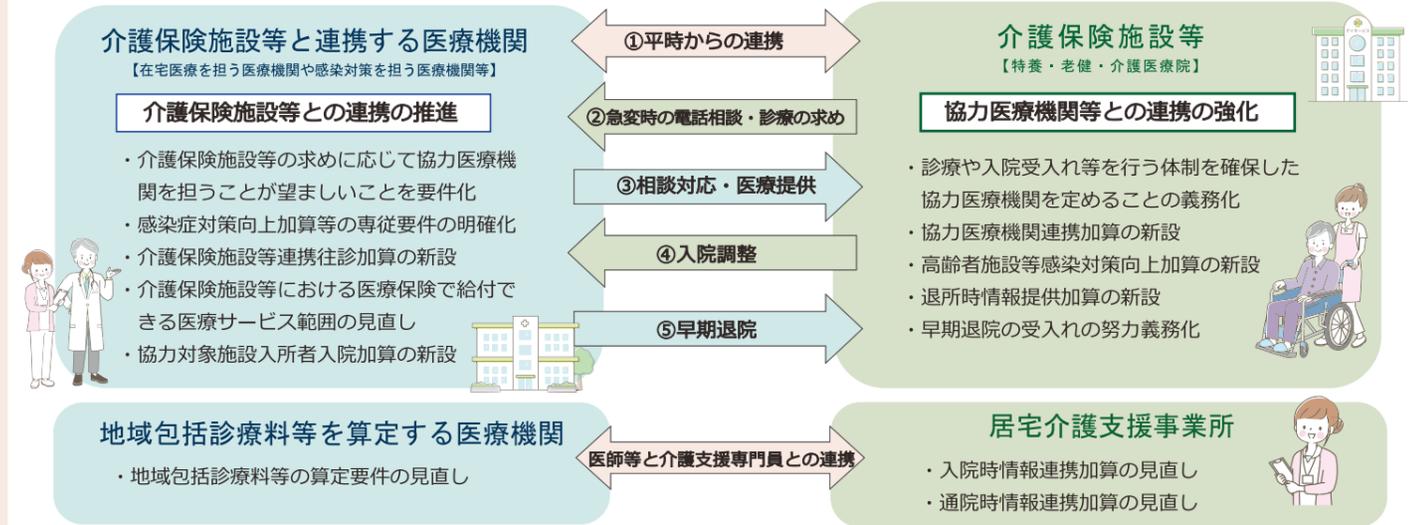


その一つとして、高齢者の救急搬送では、「下り搬送」の受け入れを担う病院を目指します。「下り搬送」とは、夜間に高度急性期病院に救急搬送された高齢患者が当院での治療がふさわしいと診断され、短期間のうちに搬送転院を受け入れるシステムです。病院の機能分担、医療経済、患者負担の軽減等がその背景にあります。(図1)

また、介護施設等との連携においては、顔の見える関係、専門職の人的交流を促進する改定となります。

病院入退院において、カンファレンスや施設訪問等で患者情報の共有、切れ目のないリハビリや看護の継続を行い、早期の再入院を防ぐこととします。今年度の医療・介護報酬同時改定のタイミングで見直されました。(図2)

図2 医療と介護の連携の推進(イメージ)



6月から順次診療報酬改定を受けた取り組みが実施されます。当院も準備を始めておりますので、地域の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。 *図は厚生労働省中医協資料より抜粋

02 topics

電子カルテの導入

電子カルテ導入にあたり準備やリハーサルを重ね
4月15日より本稼働いたしました!

昨年の秋頃より準備を始め、今冬にはより稼働に向けた動きが本格化しました。電子カルテ委員会を設置し、各部門のメンバーを中心に業務の流れやデータ等の整備を行いました。3月6日の第1回リハーサルでは職員が患者役を務め、外来の受付から検査、診察、会計まで実際の現場での使用方法や業務の流れを確認しました。また、病棟では入院患者の入院から退院までの流れや各種文書作成等の操作方法を確認しました。

3月13日に第2回リハーサルを実施。1回目の反省点を活かして問題点の修正、洗い出しを行いました。その後当院のデータを事前入力し、4月15日本稼働いたしました。十分な準備、訓練を行いました。まだまだ不慣れな部分もごぞます。ご不便をおかけした際には何卒ご了承ください。



↑ 外来診察室にて 第1回リハーサル 病棟にて ↑



↑ 電子カルテ端末パソコン



↑ ノート型電子カルテ端末

より質の高い医療を提供できるよう職員一丸となって取り組んでおります。皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

(芳野病院 院長 沼 義則)

インドネシアからの特定技能実習生のご紹介!

近年、医療・介護分野での介護職員の人材不足が社会問題となっています。当法人に於いても人材確保は課題となっており、介護職不足の解消のひとつとして、インドネシアから介護職員4名を(特定技能実習生)受け入れることになりました。

初めての試みでしたが、事前に特定技能制度や、インドネシアについて研修しZOOMでの交流会も行ない、3月1日より、芳野病院に2名、老人保健施設虹に2名が採用されました。

初めは芳野病院に配属になったノルさんとファニさんのご紹介です。2人は仕事をしながら日本語・介護の勉強も頑張っています。また、受入れ体制の一つとして慣れるまでの期間、それぞれの指導担当者がサポートしています。常に信頼できる存在が近くにいることで、安心して環境や職務に馴染むよう努めています。



ディアー・ノルファンジツラ



明るく笑顔で一生懸命頑張っています!

指導担当: 宗本 倫子

ノルとよんでください。療養病棟で働いています。介護の仕事は素晴らしいと思います。日本語と介護の勉強を頑張って介護福祉士の資格をとりたいです。



エファニ・ドワイ・プラティワイ

ファニとよんでください。一般病棟で働いています。芳野病院で介護職員として働くことができて良かったです。介護福祉士になるために毎日一生懸命頑張っています。



声掛けがとても優しく、何事にも前向きに取り組んでいます。

指導担当: 中塚 真由美



今後の目標である、3年後の介護福祉士の取得を法人全体で応援していきたいと思っています。

(看護部長 永禮 博子)